

1 学校教育目標
教育目標……親和協力の校訓のもと、心身ともに健やかで、豊かな人間性と主体性をもち、広く社会に貢献できる人物を育成する。 中・長期目標……基礎学力の定着及び基本的生活習慣の確立、人間関係づくりを基盤にしたコミュニケーション能力の育成 チャレンジ目標 場に応じて、責任ある言動をとる。 授業に集中し、家庭学習も大切にする。 進路実現に向けて積極的に取り組む。

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)
志願生徒数の減少や部活動の活性化に対応するため、特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりの推進 個性豊かな生徒への指導において、個々への手厚い指導とともに全教職員の連携協働体制の見直し・改善 3年間を見通した進路指導、特に個人データの継承方法等効果的な進路指導の推進 本校のキャリア教育の中核となる職場体験学習の在り方等の見直し・改善 分掌の統合、並びに仕事分担等の見直しを図るとともに、教職員の連携協働体制の確立

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
次の3点について重点的に取り組みたい。 『「明るいあいさつ 明るい努力」のできる生徒の育成』: コミュニケーション能力の育成や、夢の実現を叶えるため学力の向上を図る。 『「生徒の夢の実現」を第一に考えた教師集団づくり』: 研修や授業改善を通して教職員の資質の向上を図るとともに、連携協働体制の確立に努め、生徒一人ひとりの夢の実現をめざす。 『地域に開かれ、地域と連携し、信頼される学校づくり』: 学校HPの充実や学校行事等の積極的開放を図るとともに、保護者並びに地域や中学校との連携を強化する。

4 自己評価					5 学校関係者評価			
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価	
学 習 指 導	基礎学力の向上と実力の養成	教育課程を見直し改善する。	4: 教育課程が十分改善された。 3: 教育課程が概ね改善された。 2: 教育課程は見直されたが、ほとんど改善されなかった。 1: 教育課程はほとんど見直されなかった。	4	・教育課程検討委員会を6回実施し、新学習指導要領を視野に入れた検討を行った。今後はさらに具体的な検討が必要である。 ・生徒による授業アンケート・学校評価は以下のとおり。授業の内容「ちょうどいい・やや高い」: 89.1% 興味・関心、進路に応じた選択科目の設置「そう思う・ありがたいと思う」: 63.9%	教育課程については、選択科目の充実に関する検討等も含め、今後とも、新学習指導要領を視野に入れ充実させていきたい。 授業研究については、計画的・効果的に実施されており、今後も今の取り組みを継続していただきたい。	A	
		授業研究を推進する。	4: 全教科において、授業研究が十分推進された。 3: 全教科において、授業研究が概ね推進された。 2: 全教科において、授業研究があまり推進されなかった。 1: 全教科において、授業研究がほとんど推進されなかった。	4	・教科ごとの授業研究・研究協議(全教科年1回以上)や、管理職による全授業担当者の授業参観(年3回)を実施して、授業改善を行った。 ・生徒による授業アンケートでは、授業方法等に関する目について、8割程度の生徒が肯定的に評価している。 ・保護者による学校評価アンケートにおいても9割程度			
	学習環境の充実	授業規律を確立する。	4: 全生徒がチャイムが鳴るまでに授業の準備をして待機していた。 3: かなりの生徒がチャイムが鳴るまでに授業の準備をして待機していた。 2: チャイムが鳴るまでに授業の準備をして待機している生徒は約半数だった。 1: チャイムが鳴るまでに授業の準備をして待機している生徒はほぼ全生徒が主体的に読書していた。	4: 全生徒がチャイムが鳴るまでに授業の準備をして待機していた。 3: かなりの生徒が主体的に読書していた。 2: 本は準備しているが、読書をする生徒はあまりいなかった。 1: 本の準備をしている生徒が、あまりいなかった。	3	・授業時以外にも、全校集会時等において指導を行った。 ・生徒の授業アンケート自己評価では高い評価を示しているが、まだ十分とは言えず、今後、教務・教科・学年の連携体制の見直し・改善を図る。 授業アンケートにおける生徒の自己評価 授業への準備「そう思う・ありがたいと思う」: 91.3%	授業規律や整理整頓については、家庭の協力が必要不可欠ではあるが、保護者との連携を深める一方で、学校における指導方法の見直し・改善を行ってほしい。 朝の読書については、様々な改善策を実施されており、今後も貴校の特色ある活動として推進されることを望む。	B
		朝の読書を推進する。	4: 全生徒が主体的に読書していた。 3: かなりの生徒が主体的に読書していた。 2: 本は準備しているが、読書をする生徒はあまりいなかった。 1: 本の準備をしている生徒が、あまりいなかった。	4	・朝の読書を行うことで、落ち着いた雰囲気での学習に入れている。 ・全教員の協力の下、朝の読書を推進しているが、「毎日読む」と答えた生徒は6割程度であった。全体の3割程度を占める「時々読む」生徒たちに、継続して読ませる。			
		教室内の整理を徹底する。	4: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理が徹底された。 3: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理が概ね徹底された。 2: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理があまり徹底されなかった。 1: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理がほとんど徹底されなかった。	4: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理が徹底された。 3: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理が概ね徹底された。 2: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理があまり徹底されなかった。 1: 机上・机周辺・ロッカーの中等、教室内の整理がほとんど徹底されなかった。	3	・HRや授業時以外にも、全校集会時等において指導を行った。 ・学校評価では、「教室内は整頓されている」という項目で、そう思う、ややそう思うと回答した生徒は約6割である。今後は教員だけでなく、生徒同士が呼びかけ整理整頓できる環境をつくりたい。		
	開かれた学校づくりに向けた情報発信の推進	授業公開・体験入学を充実させる。	4: 授業公開・体験入学とも充実していた。 3: 授業公開・体験入学とも概ね充実していた。 2: 授業公開・体験入学とも、あまり充実していなかった。 1: 授業公開・体験入学とも、ほとんど充実していなかった。	4: 授業公開・体験入学とも充実していた。 3: 授業公開・体験入学とも概ね充実していた。 2: 授業公開・体験入学とも、あまり充実していなかった。 1: 授業公開・体験入学とも、ほとんど充実していなかった。	4	・授業公開は、年に2回公開週間を設けるなど延べ11日間開催した。参加者数は伸び悩んでおり、実施の時期・広報体制等について再検討する。 ・体験入学では、新たに体験入部を取り入れた。年々充実を図っているが、情報発信全体としてみたときの位置	授業公開・体験入学については、年々充実してきており評価できる。今後の情報発信強化にも期待したい。 ホームページについては、昨年度に比べ更新回数も増加しており、年々充実してきているが、今後は、運営方法等を見直し、担当者の負担が増えることのないよう効率よく運用してほしい。	A
他分掌との連携を図り、ホームページを充実させる。		4: 他分掌と連携し、ホームページは充実したものとなった。 3: 他分掌と連携し、ホームページは概ね充実したものとなった。 2: 他分掌との連携が十分でなく、ホームページはあまり充実したものとならなかった。 1: 他分掌との連携が不十分で、ホームページはほとんど充実したものとならなかった。	4	・本校の教育活動を生徒の様子を伝達するというコンセプトで情報発信した。 ・学年・分掌が企画する活動を主としてwebに公開した。更新回数は昨年度よりも大幅に増加した。 昨年度: 24回 今年度: 37回 ・今年度は係単独の作業に加え、他分掌からの情報提供があった。その点では、昨年度よりも目標を達成したと言える。				

学習指導	・人権意識の確立と人権を守る態度の育成	・学年・教科との連携を図り、全体計画を見直し改善する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 学年との連携を図り、全体計画は十分に見直し改善された。</li> <li>3: 学年との連携を図り、全体計画は概ね見直し改善された。</li> <li>2: 学年との連携を図った全体計画の見直し改善は、あまりなされなかった。</li> <li>1: 学年との連携を図った全体計画の見直し改善は、ほとんどなされなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3: 学年と連携を図ることができるよう、全体計画を見直した。</li> <li>・各学年と連携し、学年毎にDVDを視聴させたが、真剣に視聴していた。</li> <li>・DVD視聴後アンケートを書かせたが、人権問題について考えることの重要性を認識し、偏見や差別を無くすように努力しなければならないと思うという意見が多数あった。</li> </ul>	<p>生徒の生活態度等から人権意識の向上が伺われる。今後、さらに指導を充実させてほしい。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
生徒指導	・基本的生活習慣の確立	・月1回の服装頭髪指導を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 服装頭髪指導が十分行われ、効果が上がった。</li> <li>3: 服装頭髪指導が行われ、概ね効果が上がった。</li> <li>2: 服装頭髪指導が十分に行われず、あまり効果が上がらなかった。</li> <li>1: 服装頭髪指導がほとんど行われず、効果が上がらなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3: 月に1回、年間計8回の全校一斉の服装頭髪指導を実施し、改善が見られない生徒については、生徒指導課と学年部が連携して再指導を行い指導を徹底した。その結果、今年度は改善書の発行が一度もなく(昨年度1回)、指導が概ね行き渡っていた。</li> <li>・セーター等の着用についても指導規定を設け、学校指定外のものを用いないよう指導を徹底した。その結果、2、3学期に指導を受けた生徒は皆無である。</li> </ul>	<p>・地域においても生徒はあいさつをよくする。数年前と比較すると生徒が随分穏やかになったという印象がある。登校時の立番指導は地道に実施している様子がわかり評価できる。自転車の二人乗りを見かけたことがあり、注意を促したが、今後も交通安全指導にさらに留意してほしい。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
		・登校時の立番により、挨拶等マナーの指導をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 登校時の立番により、挨拶等マナーの向上が十分達成された。</li> <li>3: 登校時の立番により、挨拶等マナーの向上が概ね達成された。</li> <li>2: 登校時の立番により、挨拶等マナーの向上があまり達成されなかった。</li> <li>1: 登校時の立番が十分に行われなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3: 1学期は登校指導を不定期に実施していたが、2学期からは月に1度定期的に朝の立ち番を実施した。学年団で分担し、挨拶・服装・マナー指導を行った。生徒の挨拶は良好、服装の乱れは徐々に改善されている。</li> <li>・マナー意識の不十分な若年名の生徒に対し、さらに効果的な働きかけをしていく必要がある。</li> </ul>	
		・校舎内外の巡視及び交通立番により、マナーの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 校舎内外の巡視及び交通立番によりマナーの向上が十分達成された。</li> <li>3: 校舎内外の巡視及び交通立番によりマナーの向上が概ね達成された。</li> <li>2: 校舎内外の巡視及び交通立番によりマナーの向上があまり達成されなかった。</li> <li>1: 校舎内外の巡視及び交通立番が十分に行われなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2: 月に1度定期的に校舎内外の巡視を行いマナーの向上を図ったが、未だに校舎内や敷地内に放置されているゴミを見かける時があり、全ての生徒のマナーが向上しているとは言い難い現状である。</li> <li>・今後はもう少し細かく注意を促す等工夫して生徒のマナー意識の高揚を図るとともに、ゴミを捨てにくい雰囲気をつくり出していく必要がある。</li> </ul>	
		・年2回の自転車点検により、交通安全意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 交通安全に対する意識が十分に高揚した。</li> <li>3: 交通安全に対する意識が概ね高揚した。</li> <li>2: 交通安全に対する意識があまり高揚しなかった。</li> <li>1: 交通安全に対する意識がほとんど高揚しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 年2回の自転車点検に加え、月に1度自転車置き場の巡視を実施し、生徒の自転車の使用状況はかなり改善された。学校未認可の自転車もほぼなくなった。</li> <li>・外部講師による交通安全教室を実施し、生徒全員の交通安全意識の高揚を図った。</li> </ul>	
指導	・自主性・協調性の育成	・生徒会活動を積極的に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 生徒会活動が十分活性化した。</li> <li>3: 生徒会活動が概ね活性化した。</li> <li>2: 生徒会活動があまり活性化しなかった。</li> <li>1: 生徒会活動がほとんど活性化しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3: 文化祭、クラスマッチの充実度は昨年度と比べて高かった。保護者や地域の方々にも楽しんでもらえるよう、前庭企画や展示など今後も工夫していく必要がある。</li> <li>・各委員会の活動内容を具体的に示していく必要がある。</li> </ul>	<p>・クラスにおける様々な活動や話し合い、文化祭、部活動においても協調性が大事であるが、生徒が自分の置かれている立場をよくわかって行動している様子がうかがえる。部活動においては少ない部員数のなかでよく頑張っていると思う。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
		・ボランティア活動の推進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: ボランティア活動が充実していた。</li> <li>3: ボランティア活動が概ね充実していた。</li> <li>2: ボランティア活動等があまり行われなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: ボランティアバンクには全校生徒の74.8%が登録した。(昨年度72.5%)</li> <li>・活動には計20件延べ170名の生徒が参加した。(昨年度28件延べ261名)</li> <li>・ボランティア活動に対する意識をさらに高め、生徒が活動に参加しやすい環境を整えていきたい。</li> </ul>	
		・部活動の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 部活動の活性化が十分図られた。</li> <li>3: 部活動の活性化が概ね図られた。</li> <li>2: 部活動の活性化があまり図られなかった。</li> <li>1: 部活動の活性化がほとんど図られなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3: 教員、生徒、保護者で、評価の違いがみられた。</li> <li>・「そう思う、だいたいそう思う」</li> <li>・教員: 82.4%(前年度より10.2%増加)</li> <li>・生徒: 59.6%(前年度より5.4%減少)</li> <li>・保護者: 41.2%(前年度より13.3%減少)</li> <li>・年度当初加入率は78%であったが、数名が退部した。</li> <li>・活動内容や成果を広報し、加入者を増やす工夫を行う。</li> </ul>	
生徒指導体制の確立	・生徒指導教育相談委員会を毎学期実施し、生徒に関する情報を共有し、生徒理解を深める。		<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 各学年主任、担任、教育相談課と連携し、情報交換が十分に行われた。</li> <li>3: 各学年主任、担任、教育相談課と連携し、情報交換が概ね行われた。</li> <li>2: 各学年主任、担任、教育相談課との連携があまり進まず、情報交換も十分に行われなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 教育相談課とともに、毎学期1回生徒情報に関する会議を実施した。また、必要に応じて全教員に生徒情報の周知を図った。今後も各学年との連携強化を図りながら、さらに生徒へのきめ細かい対応に努めたい。</li> </ul>	<p>生徒数が少ないことをメリットと捉え、一人ひとりを大切に人権に配慮した対応がなされていると思われる。学校側に対する保護者からの要望や反対意見、改善案等はなく協力体制が整っていたことは評価できる。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
		・保護者やPTA活動との連携を密にし、信頼関係を築く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 保護者やPTA活動との連携が密に行われ、強固な信頼関係を築くことができた。</li> <li>3: 保護者やPTA活動との連携が行われ、信頼関係を概ね築くことができた。</li> <li>2: 保護者やPTA活動との連携が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4: 文化祭において、保護者によるカレー・うどんの販売、パーへの協力などにより連携が深まった。</li> <li>・警備においてもPTAと連携し、生徒及び来場者の安全を図ることができた。</li> <li>・アンケート結果でも、教員とPTAとの協力体制ができていくとする回答が7割強を占めている。</li> </ul>	

進路指導	<p>・生徒が自己を理解し、主体的に進路を選択する能力の育成</p>	<p>・生徒に対応した多面的な課外・模擬試験を実施する。</p>	<p>4: 多面的な課外や模擬試験等が十分に実施された。 3: 多面的な課外や模擬試験等が概ね実施された。 2: 多面的な課外や模擬試験等があまり実施されなかった。 1: 多面的な課外や模擬試験等がほとんど実施されなかった。</p>	<p>4</p> <p>・看護医療系や小論文、公務員模試等の生徒の実態に応じた進学・就職模試を実施した。 生徒に案内した模試回数 昨年度17回 今年度28回 ・少数ではあるが、自分の進路に応じた模試を受験した。 受験生徒数36名(1月末) ・課外の受講者が昨年度に引き続き、大幅に増加した。 保護生徒数 昨年度373名 今年度373名</p>	<p>・キャリア教育への取り組みを今後も続けていくこと。 ・進路が全員決定しているのは評価できる。 ・進学希望を増やすことはできないだろうか。 不況の影響で保護者が進学資金を準備できず、奨学金についても紹介はしても受けられる方は少なく進学を増やすことは難しいのではないかと。 ・教員が求人開拓することで求人数が増えたことはすばらしい。</p>	A
		<p>・職場体験の検討及び改善を図る。</p>	<p>4: 職場体験学習の在り方について十分見直し・改善が行われた。 3: 職場体験学習の在り方について概ね見直し・改善が行われた。 2: 職場体験学習の在り方についてあまり見直し・改善が行われなかった。 1: 職場体験学習の在り方についてほとんど見直し・改善が行われなかった。</p>	<p>4</p> <p>・総合的な学習の時間を活用し、進路指導課が企画・運営を担当することで、学年と連携しながら事前指導から事後指導までを計画的にきめ細かく実施することができた。 ・実施時期を3月から2月とすることで、事後指導まで年度内に実施することができた。</p>		
		<p>・進路説明会・校外研修等の内容を充実させる。</p>	<p>4: 進路説明会等の内容が充実し、進路意識も十分高まった。 3: 進路説明会等の内容が概ね充実し、進路意識も概ね高まった。 2: 進路説明会等の内容があまり充実せず、進路意識もあまり高まらなかった。 1: 進路説明会等の内容が充実せず、進路意識もほとんど高まらなかった。</p>	<p>4</p> <p>・5月の進路説明会において、就職希望者は実践的な面接指導や現状を知るための講義、進学希望者は8講座の中から進路希望に応じた模擬授業を受け、進路選択をする能力態度の育成に努めた。 ・2月に1、2年を対象とした職業体験型進路説明会を新たに実施した。各人が11講座の中から2講座選択し、職業についての講義や実体験を通して、進路意識を</p>		
進路指導	<p>・社会人としての資質の育成</p>	<p>・進路ガイダンス、社会人講話の充実を図る。</p>	<p>4: 進路ガイダンス・社会人講話が充実し、社会人としての資質も十分に育成された。 3: 進路ガイダンス・社会人講話が概ね充実し、社会人としての資質も育成された。 2: 進路ガイダンス・社会人講話があまり充実せず、社会人としての資質も十分育成されなかった。 1: 進路ガイダンス・社会人講話が</p>	<p>4</p> <p>・6月に全学年対象の社会人講話、7月、8月に3年生対象の進路ガイダンス、11月に1、2年対象の就職ガイダンス、12月に1年対象の企業セミナーを実施した。生徒も大変意欲的に取り組み、社会人として身につけるべき基本を体得することができた。</p>	<p>・進路ガイダンスは充実している。 ・日頃の生活態度を生徒指導課と連携して指導していくこと。 ・進路だよりにあった面接で使っていない言葉遣いというのがよかった。</p>	A
		<p>・礼儀作法、提出物の期限厳守等の指導を徹底する。</p>	<p>4: 礼儀作法、提出物の期限厳守等について、十分指導された。 3: 礼儀作法、提出物の期限厳守等について、概ね指導された。 2: 礼儀作法、提出物の期限厳守等について、あまり指導されなかった。 1: 礼儀作法、提出物の期限厳守等について、ほとんど指導されなかった。</p>	<p>3</p> <p>・課題や提出物等の厳守に関する生徒自身の評価は、88.5%である。 ・専門家を招聘して、社会人としての心構えやビジネスマナー等の基本を学習したが、継続的な指導の充実が求められる。</p>		
進路指導	<p>・進路情報提供の推進</p>	<p>・進路だよりを効果的に発行する。</p>	<p>4: 進路だよりが計画的に発行され、進路に関する情報が十分提供された。 3: 進路だよりが発行され、進路に関する情報も概ね提供された。 2: 進路だよりがあまり発行されず、進路に関する情報も十分提供されなかった。 1: 進路だよりがほとんど発行されなかった。</p>	<p>4</p> <p>・ほぼ月1回発行、1月現在で8号まで発行し、就職状況や進学状況、卒業生の体験談、進路関係行事等の情報提供を行った。 ・学校説明会や体験入学、保護者会に増刊号を発行し、本校での進路指導の取組や進路状況を掲載した。 進路情報提供に対する生徒の満足度が増加した。 進学関係: 80.0% 83.8% 就職関係: 76.8% 84.8% 進路情報提供に対する保護者の満足度も増加した。 進学関係: 83.8% 87.1% 就職関係: 78.0% 83.1% 12月には、満足度が65%程度に減少している。保護</p>	<p>・進路だよりより、学校の取り組みがよく分かる。 ・保護者へ配布物が伝わらないので今後、何か対策してほしい。 ・ホームページ等を活用し、進路情報を外部へも発信してほしい。</p>	A
		<p>・進路指導室の利用を促進する。</p>	<p>4: ほとんどの生徒が進路指導室を有効に活用した。 3: かなりの生徒が進路指導室を活用した。 2: 生徒が進路指導室をあまり活用しなかった。 1: 生徒が進路指導室をほとんど活用しなかった。</p>	<p>3</p> <p>・3学年については、夏休み以降進路決定まで、面接指導、個別学習、小論文指導等を毎日徹底的に行った。 その他、進路情報の収集や進路相談等で有効に活用した。 ・1、2年については、活用の機会が少なかったが、今後は早期から活用を呼びかけていく必要がある。</p>		
教育相談	<p>・教職員相互の密な情報交換</p>	<p>・必要に応じて情報交換を実施する。</p>	<p>4: 時宜を得た情報交換により、生徒への理解が十分深まった。 3: 時宜を得た情報交換により、生徒への理解が概ね深まった。 2: 情報交換があまり行われず、生徒への理解も十分にできなかった。 1: 情報交換がほとんど実施されなかった。</p>	<p>3</p> <p>・事例検討会を適宜実施し、当該生徒の情報交換を行い、情報の共有を図るとともに、今後の指導の在り方についての理解を深めた。</p>	<p>・このような項目については保護者でも判断するのが、難しいが、情報交換等十分されていることが伺える。</p>	B
		<p>・スクールカウンセラー及び外部専門機関等を効果的に活用する。</p>	<p>4: スクールカウンセラー及び外部専門機関等を効果的に活用した。 3: スクールカウンセラー及び外部専門機関等を概ね効果的に活用した。 2: スクールカウンセラー及び外部専門機関等をあまり活用すること</p>	<p>3</p> <p>・特別な支援の必要な生徒に対しては、外部の専門機関との連携により、生徒の指導に当たった。 ・スクールカウンセラーによる研修会を開催し、本校における教育相談について、専門的な立場からの助言を受けた。 ・スクールカウンセラーとの情報共有のため、該当クラスの担任・関係教員・教育相談担当で情報交換する時間</p>		

教育相談	・生活一人ひとりのきめ細かな理解	<p>4:生活全般・いじめに関するアンケート等を実施し、十分効果が上がった。</p> <p>3:生活全般・いじめに関するアンケート等を実施し、概ね効果が上がった。</p> <p>2:生活全般・いじめに関するアンケート等実施したが、あまり効果が上がらなかった。</p> <p>1:生活全般・いじめに関するアンケート等がほとんど実施されなかった。</p>	3	<p>・1年生は1学期に心理検査を実施したが、検査結果の見方について、専門家による教職員研修も実施することができた。</p> <p>・生活全般に関するアンケートを各学期当初に実施した。</p> <p>・いじめに関するアンケートを6月・11月に実施し、その結果について全教職員で研修を行い共通理解を図った。</p> <p>・担任・教育相談課を中心に個別面談を実施し、生徒一人ひとりに対しきめ細かな理解を図ることができた。</p>	様々な事情をかかえた生徒がいる中、よくやっていたのではないかと。	B
	・登下校時、生徒への声かけを実施する。	<p>4:登下校時の声かけを実施することにより生徒の理解が大変深まった。</p> <p>3:登下校時の声かけを実施することにより生徒の理解が概ね深まった。</p> <p>2:登下校時の生徒の声かけがあまり行われなかった。</p> <p>1:登下校時の生徒の声かけがほとんど行われなかった。</p>	3	<p>・毎日登下校時に生徒への声をかけを行った。</p> <p>・今後の課題として、登下校時に限らず、いろいろな場面で教職員全体で声かけをするような体制づくりに努めた。</p>		
健康安全	・保護者への相談活動の周知	<p>4:保護者へ教育相談に関するたよりの発行やアンケートを実施し、相談活動の周知を十分に図ることができた。</p> <p>3:保護者へ教育相談に関するたよりの発行やアンケートを実施し、相談活動の周知を概ね図ることができた。</p> <p>2:保護者へ教育相談に関するたよりの発行やアンケート実施したが、相談活動の周知をあまり図ることができなかった。</p> <p>1:保護者へ教育相談に関するたよりの発行やアンケート実施したが、相談活動の周知をほとんど図ることができなかった。</p>	3	<p>・保護者への教育相談だよりを年2回発行した。また、「佐波高通信」やPTA役員会等で、スクールカウンセラーの来校日や活動内容等を報告し、情報発信に努めた。</p> <p>・6月に保護者対象のアンケートを実施し、家庭での様子や悩み等の実態把握に努めた。</p> <p>・来年度は、相談だよりの発行回数を増やし、保護者との連携を図りたい。</p>	・情報発信については相手があることなのでなかなか難しいと思うが、今後も努力していただきたい。	B
	・基礎体力の向上と運動部の活性化	<p>・授業や体育的行事を通して体力づくりを促進する。</p> <p>・運動部活動の活性化を促進する。</p>	<p>4:授業や体育的行事を通して、体力が十分向上した。</p> <p>3:授業や体育的行事を通して、体力が概ね向上した。</p> <p>2:授業や体育的行事を通して、体力があまり向上しなかった。</p> <p>1:授業や体育的行事を通して、体力がほとんど向上しなかった。</p> <p>4:運動部の活動が十分に活性化された。</p> <p>3:運動部の活動が概ね活性化された。</p> <p>2:運動部の活動があまり活性化されなかった。</p> <p>1:運動部の活動がほとんど活性化されなかった。</p>	4	<p>・ほとんどの生徒が体育授業へ積極的に取り組んでいる。マラソン大会やクラスマッチなどの体育的行事については、参加率も100%（医者より参加をとめられている者を除く）で全学年で熱心に取り組んだ。</p> <p>・ボクシングがインターハイに出場し、山口県に14年ぶりの勝利をもたらした。</p> <p>・陸上部も地区予選を勝ち残り県総体に出場した。</p> <p>・女子バレー部が一年ぶりに公式戦に参加した。</p> <p>・野球部はメンバーぎりぎりの人数ながら全大会に出場した。数年間コールド負けが続いていた選手権大会では、6対2と健闘した。</p> <p>・卓球部は県ベスト4を目指し毎日熱心に練習に取り組んだ。ベスト4入りは逃したが、その取り組みは他の部の見本となった。</p> <p>・バスケットボール部は選手権大会で勝利を挙げた。</p> <p>・すべての部が少ない部員数ながら顧問と共に日々の練習を大切にして、しっかり取り組んでいるので、成果が少しずつ現れている。</p>	少ない生徒数の中、体育的の学校行事や部活動にしっかりと取り組んでいる。
健康安全	・健康・安全に対する知識の体得と望ましい態度の育成	<p>4:「健康診断の記録」が有効に活用された。</p> <p>3:「健康診断の記録」が概ね有効に活用された。</p> <p>2:「健康診断の記録」があまり有効に活用されなかった。</p> <p>1:「健康診断の記録」がほとんど活用されなかった。</p>	3	<p>・健康診断・身体測定などの結果をもとに、健康相談・治療指示等の保健指導を十分行った。</p> <p>・健康診断の記録表の記入は100%できている。</p> <p>・上記により、保護者との連絡がスムーズになり、疾病の予防・治療に効果を上げている。</p> <p>・保健室利用では身体面での利用が減少しているが、精神的な面からの利用が多くなってきている。</p>	学校安全表彰を受けるなど取り組みは評価できる。	A
	・安全に対する考え方や自分自身の行動を見つめ直し、危険を回避する能力を育成する。	<p>4:安全教育を通して、危険を回避する能力が育成された。</p> <p>3:安全教育を通して、危険を回避する能力が概ね育成された。</p> <p>2:安全教育は実施したが、危険を回避する能力はあまり育成できなかった。</p>	4	<p>・新型インフルエンザ予防の研修を早期に教職員・生徒に実施した。現在まで生徒の罹患率も低く、学級閉鎖など処置に至っていない。</p> <p>・所轄の警察署から講師を招き、教職員対象に学校での防犯研修会を実施した。</p>		
環境教育	・校内美化及び環境教育の推進	<p>4:地域や校内の美化が十分に達成できた。</p> <p>3:地域や校内の美化が概ね達成できた。</p> <p>2:地域や校内の美化があまり達成できなかった。</p> <p>1:地域や校内の美化がほとんど達成できなかった。</p>	3	<p>・計画した清掃活動が1回雨天のため1回実施できなかった。</p> <p>・校内の日々の清掃活動や行事に際しての大掃除などしっかりと取り組み、校内の美化は達成できている。</p>	校内の美化などよく取り組まれている。地域の自然環境に対して注目し環境教育を実践したらい。	B
	・環境問題や自然保全に関する情報を示し、啓蒙活動を行う。	<p>4:環境問題や自然保全について十分に啓蒙活動が行われた。</p> <p>3:環境問題や自然保全について概ね啓蒙活動が行われた。</p> <p>2:環境問題や自然保全についてあまり啓蒙活動は行われなかった。</p> <p>1:環境問題や自然保全についてほとんど啓蒙活動は行われなかった。</p>	3	<p>・緑のカーテンをホームルーム窓側に設置した。</p> <p>・環境問題、自然保全に関するポスターやパンフレットのホームルーム掲示等を促し啓蒙活動を行った。</p>		

業務改善	学校の組織等		4:他学年・他分掌の業務内容の共有が充分できて、積極的に支援・協力をすることができた。 3:他学年・他分掌の業務内容の共有が概ねできて、支援・協力をすることができた。 2:他学年・他分掌の業務内容の共有は難しかったが、要請に応じて	3	各課及び学年が主催する様々な行事や会議が主体的計画的に実施され、学年・分掌を超えた連携体制が確立されつつある。 ・キャリア教育については、進路指導課を中心に、分掌・学年が連携し、大いに成果を上げた。 ・生徒指導課を中心とした服装指導も今年度成果を上げたが、全校を挙げての取組が来年度の課題である。	・キャリア教育と生活指導は成果を上げており、連携体制が確立されていることが伺える。 ・教員数の制限のある中で業務の均等化を行うのはなかなか難しいのではないかと。	B
	日常的な業務		4:周到な事前準備と計画により、効果的に実施することができた。 3:事前準備と計画により概ね効果的に実施することができた。 2:事前準備と計画が十分でなく、あまり効果的に実施できなかった。 1:事前準備と計画が不十分で、ほとんど効果的に実施できなかった。	3	・会議の事前準備は昨年度よりスムーズに行われた。 ・職員会議以外の分掌や学年主催の会議や研修も概ね計画的かつ効率的に実施され、ほぼ時間内に終了することができた。		
	会議や研修の効果的な実施	・事前準備を充実させ、年間を通して計画的に会議や研修を実施する。	4:業務量の均等化が適切に図られた。 3:業務量の均等化が概ね適切に図られた。 2:業務量の均等化があまり図られなかった。 1:業務量の均等化がほとんど図られなかった。	3	・校務分掌の在り方について、各分掌から募った意見・要望に基づき、業務量の均等化をめざして来年度校務分掌の改編を行う予定である。		
	勤務状況	・業務量の均等化を図り、一部の教員に仕事が偏らないような組織づくりを推進する。					
	各分掌での仕事分担の見直し						

6	学校評価総括(取組の成果と課題)	<p>&lt;前年度からの課題について&gt; 「志願生徒数の減少や部活動の活性化に対応するため、特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりの推進」については、「佐波 高校の将来を考える会」を開催・実施し、学校の進むべき方向性を地元中学校や住民等、幅広くアンケート調査するなど、慎重に検討し方向性を見出した。来年度からの学校運営に効果的に生かしたい。</p> <p>「個性豊かな生徒への指導において、個々への手厚い指導とともに全教職員の連携協働体制の見直し・改善」については、生徒指導・教育相談連絡会議を毎月開催、また、指導を要する生徒については、個別にケース会議を開くなど、全教職員が連携し、効果的に指導できた。その結果、今年度卒業生とその保護者から、「佐波高校に入学して良かったか、自分の進路に満足しているか」の問いに、約95%の「良かった。満足している」との回答を得た。また、平成21年度の生徒異動は、進路変更1名、退学2名であり、本校にとっては評価できる数字と受けとっている。</p> <p>「3年間を見通した進路指導、特に個人データの継承方法等効果的な進路指導の推進」については、3学年の担任や進路指導課を中心に全教職員で取り組み、卒業生39名全員の進路を決定し、卒業させることができた。このことは、大いに指導効果があったと評価している。個人データの継承方法等については、少人数の学校での効果的・効率的なデータの継承や活用について今後も研究したい。</p> <p>「本校のキャリア教育の中核となる職場体験学習の在り方等の見直し・改善」については、社会人として生活する上で、より効果的な職場体験学習を目指し、実習のみならず、事前・事後指導の在り方にも研究・改善に努め、効果的な実習ができた。</p> <p>「分掌の統合、並びに仕事分担等の見直しを図るとともに、教職員の連携協働体制の確立」については、1年間をかけて、全教職員で見直し、生徒指導課と保健体育課を統合し、生徒安全・体育課とした。また、総合的な学習の時間や、人権教育を効果的に推進するための担当分掌の見直しをした。</p> <p>&lt;今年度の重点目標の達成度について&gt;(上記と重複しない部分について述べる。) 「『明るいあいさつ 明るい努力』のできる生徒の育成」については、あいさつの励行は良くできていると学校内外でも高い評価をえた。明るい努力については、学習活動や部活動・ボランティア活動等少ない人数であるが効果的によく頑張った。ただ、小目標として掲げている「制服を大切に、端正に着よう」については、全体にはかなり良くなっているが、まだ完全とはいえない。今後も継続して指導に励みたい。</p> <p>「地域に関われ、地域と連携し、信頼される学校づくり」については、今年度初めて文化祭で、地域の方々の展示コーナーを設け、11名の方々の展示や実演ができた。とても文化的価値のあるものとなり、学校を訪れた方も例年になく多かった。地域との連携については、ほぼ全教員が徳地中学校の授業参観に参加や地域の行事等に参加するなど理解と連携に努めた。また、吹奏学部やボランティア等地元での活動も多く、地位に貢献した。</p> <p>最後に、長年の取り組みが認められ、以下の3つの名誉ある賞を受賞したことを報告し、今年度の総括とする。 平成21年6月 交通安全功労表彰 団体の部 交通安全山口県対策協議会</p>
---	------------------	--

7	次年度への改善策	<p>【学習指導】引き続き、新学習指導要領を踏まえ、中・長期的展望に立った教育課程の編成を行うとともに、授業研究や授業公開の方法等についても、効果を検証し改善を行う。学習環境の充実については、さらに指導体制を見直し、全教員が連携・協働して指導に当たることができるよう工夫する。開かれた学校作りについては、情報発信に重点を置いた見直し改善を行いたい。</p> <p>【生徒指導】生徒が規範意識を向上させ、生活のあらゆる場面において責任ある行動を取り、豊かな人間関係を構築できるようさらに取り組んでいく。そのためにも教員間の情報交換を密にし、連携協働体制がきちんと取れるようなシステム作りを考えていく。</p> <p>【教育相談】いじめ・不登校・学校不適應の未然防止及び豊かな人間関係づくりのため、生徒一人ひとりへのきめ細かな状況把握と的確な対応を図るために、教員間の情報交換をより充実させる。また、保護者との連携を深めるため教育相談日よりなどで全体への情報提供を充実させると共に、担任を中心にきめ細かな個別の情報提供を行う。</p> <p>【進路指導】キャリア教育に総合的な学習の時間を活用し、3年間通じて取り組んでいく。進路実現に向けて保護者と連携をとり、進路面談、個別指導等を充実させる。また、進路のしおりを発行して進路の基本情報を生徒、保護者へ周知し、新しい情報を進路だよりで提供するなど進路情報提供の推進を今後も一層行っていく。</p> <p>【保健体育】生徒の健康・安全に関する意識の向上をさらに図る。体育的行事をより充実させると共に運動部活動のさらなる充実に向けた取り組みを行う。環境教育について地域の自然環境に着目し計画的な指導計画を作成する。</p> <p>【業務改善】少人数の教職員を効率よく連携してより効果的な業務ができるよう、一人ひとりの能力や適正を見極めながら、配置するよう努めたい。</p>
---	----------	---

A:優れている・・・教職員の取組が優れていると認められる状況  
B:よい・・・教職員の取組がよいと認められる状況  
C:概ねよい・・・教職員の取組が概ね行われていると認められる状況  
D:要改善・・・教職員の取組に対して改善が必要な状況

